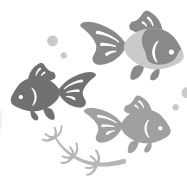


弟子屈町社会福祉協議会だより

令和4年7月1日発行 No.258



摩周のふくし



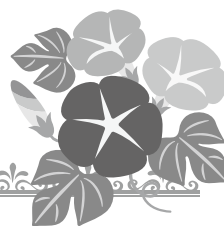
発行/社会福祉法人
弟子屈町社会福祉協議会

弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内
TEL 015-482-1054 / FAX 015-482-1236

地域食堂キッチン「みちくさ」



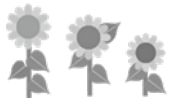
毎月第3土曜日に開催している地域食堂キッチン「みちくさ」。
町民のみなさまに来ていただけるよう「地域食堂」として活動しておりますが、いまひとつ知名度が低いのが難点です。
今は新型コロナの影響で待合室「みちくさ」（旧セブンイレブン跡地）ではなく弟子屈町社会老人福祉センターで提供しています。
子どもたちには、食事のあと遊べるように集会室を開放、大人の方には持ち帰れるようにお弁当にして（11時半頃より）福祉センター玄関ホールでお渡ししています。
今年度より参加費がこども100円、中・高生200円、大人350円とさせていただきます。
仕込み等の関係で、開催日の3日程前までにご連絡いただければ当日お渡しが可能です。（ボランティアセンター：TEL482-2858まで）
7月16日(土)は「冷やしラーメン」を提供予定！みなさまのご来場をお待ちしています。



INDEX

地域食堂キッチン「みちくさ」……表紙	決算報告 …………… P 5
事業報告 …………… P 2～4	寄付物品の紹介等 …………… P 6





令和3年度

事業報告及び決算報告



事業報告 (総括説明)

長期化したコロナ禍の中、町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう弟子屈町や地域住民の方々、ボランティアの皆様と共に「見守り」「声掛け」「助け合い」などの福祉活動を継続してまいりました。また、第6期地域福祉実践計画の策定につきましては、相次ぐ緊急事態宣言やまん延防止措置等により令和4年度に繰越となってしまいました。

介護保険や権利擁護事業、高齢者就労センター事業などは、町を始め町民の皆様、関係団体の皆様のご支援、ご協力のもと滞りなく実施いたしました。



重点推進事項及び活動の概要

1. みんなが支え合う地域づくり

<p>(1) ボランティアセンター活動</p> <p>町民に広くボランティア活動についての関心と理解を深めていただくために、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの登録や斡旋、講座などの各種事業を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○登録者数（年度末時点）：101名 ○活動回数及び延べ活動者数 <ul style="list-style-type: none"> みちくさ等福祉関係：270回 延べ607名 講座/研修会：11回 延べ52名 ○収集活動（ボランティア連絡協議会）：随時 ○その他活動：リサイクル作業
<p>(2) ボランティア関連の事業</p> <p>町内の小・中学校、高等学校を対象に、ボランティア活動の自主性、連帯性などの精神を培うため、協力校を指定し福祉に関する活動の支援に努めました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒のボランティア活動指定校：3校 ⇒弟子屈中学校、認定こども園ましゅう、川湯小学校
<p>(3) 子育て支援の推進</p> <p>弟子屈町が実施する子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）を受託するとともに、子どもの預かり手確保のための取組を推進しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○利用登録者数（年度末時点）：27名 ○利用件数：452件 ○利用時間：722時間 ○預かり手登録者数（年度末時点）：12名 ○子育て預かり手援助活動奨励金交付事業実施
<p>(4) 住民交流の推進</p> <p>待合室「みちくさ」の施設管理を行い、ふれあいサロン事業への支援や一人暮らし高齢者への布絵ハガキの送付支援を行いました。</p>	
<p>(5) 生活基盤の確保</p> <p>(ア) 生活福祉資金の相談対応 道社協が実施する新型コロナウイルス感染症における生活福祉資金（緊急小口・総合支援）特例貸付制度の相談や借入申請等を受け付けるとともに、貸付後の自立に向けた継続支援を行いました。</p> <p>(イ) 生活困窮者等に対する安心サポート事業の実施 道社協や自立相談支援機関との連携により生活困窮者へ食材や生活必需品等の現物給付による支援を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○相談件数：138件 ○貸付決定数及び貸付額 <ul style="list-style-type: none"> 緊急小口資金【特例】：12件 2,300千円 総合支援資金【特例】：9件 5,373千円 総合支援資金延長/再貸付【特例】：5件 2,823千円 ○現物給付件数：計2件 <ul style="list-style-type: none"> 食料品、灯油等：1件 食料品、携帯電話遅滞料金：1件

2. みんなが安心して生活できる地域づくり

(1) 在宅福祉サービスの実施	
<p>(ア) 入浴サービス事業 家庭において入浴の困難な寝たきり老人等に対して、特養摩周の特殊浴槽や弟子屈町デイサービスセンターを利用し入浴サービスを実施しました。</p>	<p>○入浴利用登録者数（年度末時点）：2名 ○実施回数：57回 ○稼働日数：44日 ○介助員延べ数：88人 ○送迎員延べ数：44人</p>
<p>(イ) 移送サービス事業 おおむね65歳以上の疾病や高齢化により身体機能が低下している者で、家族等の送迎援助が得られない事情を抱えているとともに、公共交通機関等を利用し通院、入退院などが困難な者に対し、移送サービスを行いました。</p>	<p>○利用登録者数（年度末時点）：131名 ○延べ利用者数：1,012名 ○稼働数 町内：229回 町外：155回（釧路） ○稼働時間：2,494時間 ○使用車両：4台</p>
<p>(ウ) 訪問サービス事業 安否確認や励ましが必要と思われる一人暮らしの70歳以上の町民を対象に、ヤクルト販売員が乳酸菌飲料を持参して訪問し、安否確認を行いました。</p>	<p>○訪問登録者数（年度末時点）：27名 ○訪問回数：1,760回</p>
<p>(エ) 老人世帯等除雪援助事業 自宅の生活路（避難路）を自力で除雪することが困難な、おおむね70歳以上の老人世帯等に対し除雪の援助を行いました。</p>	<p>○除雪登録世帯数（年度末時点）：57世帯 ○除雪実施日数：10日 ○延除雪実施回数：502回 ○延べ除雪従事者数：30人 ○延べ除雪作業時間：199時間</p>
<p>(オ) 給食サービス事業 おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者夫婦世帯等で食事を作ることが困難な者や栄養改善が必要な者に定期的に食事を届け、食事の確保と安否の確認を行いました。</p>	<p>○給食利用登録者数（年度末時点）：52名 ○提供食数：計12,489食 昼食：4,115食 夕食：8,374食</p>
(2) 介護保険事業の実施	
<p>(ア) 訪問介護事業 訪問介護員（ホームヘルパー等）が要介護者の家庭を訪問し入浴、排せつ、食事等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の家事援助、生活等に関する相談・助言等、日常生活上のお世話を行いました。</p>	<p>○利用者数（年度末時点） 訪問介護：42名 障害者居宅介護：8名 ○訪問回数 訪問介護：1,361回 障害者居宅介護：287回</p>
<p>(イ) 居宅介護支援事業 居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービス（指定居宅サービス等）を適切に利用できるように、ケアプランなどの作成・運用を通じて要介護者とサービス提供事業者や行政との連絡・調整を行いました。</p>	<p>○利用契約者数（年度末時点） 介護予防：2名 介護：81名 ○ケアプラン作成数 予防給付：47件 介護給付：1,013件</p>
<p>(ウ) デイサービス事業 入浴、食事、レクリエーション等の提供により、在宅生活が維持できるよう支援するとともに、利用者の社会的孤独感の解消や心身機能の維持並びに利用者家族の身体的、精神的負担の軽減に努めました。</p>	<p>○延べ利用者数 介護：3,492名 予防：1,066名 総合事業：9名</p>
(3) 相談体制の充実	
<p>(ア) 心配ごと相談事業 町民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉増進に努めました。</p>	

(4) 地域福祉権利擁護事業の実施	
(ア) 日常生活自立支援事業の実施 道社協事業を受託し、認知症等により日常生活の判断能力に不安があり、生活費の管理などが一部困難な方へのお手伝いを行いました。	○日常生活自立支援者数（年度末時点）：9名
(イ) 法人後見（成年後見）事業の実施 本会が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、後見支援員の協力を得ながら判断能力が不十分な町民の財産管理や身上保護・支援を行いました。	○法人後見数（年度末時点） 後見：3名 保佐：3名 補助：1名



3. 地域福祉を支え、頼りになる社協づくり

(1) 地域福祉実践計画の適正運用	
第5期地域福祉実践計画の最終年度（5年計画）を迎え、計画に沿った事業実施に努めました。	
(2) 社協事業の住民理解の推進 年5回発行の社協だより「摩周のふくし」の充実や本会ホームページの適正管理を図り社協事業について、理解と協力が得られる広報活動に努めました。	○「摩周のふくし」の発行：5回 ⇒1・3・5・7・10月 ○ホームページの管理 http://teshikaga-shakyo.jp
(3) 社協基盤の強化	
(ア) 安定的な法人運営の推進 弟子屈町からデイサービスセンターの指定管理や社会老人福祉センターの管理業務、介護予防事業、ファミリー・サポート・センター事業等を受託するとともに、町補助金、助成金等の有効活用を図り安定的な法人運営に努めました。	○社会老人福祉センター貸館利用状況 貸館件数：333件 利用者数：6,319名 ○福祉センター福祉の湯利用状況 延べ利用者数：16,798名 ○介護予防事業実施状況 介護予防サークル：4団体 （ふまねっとサポーター―九・三／ バルーンが摩周／脳トレ摩周／菜の花会） ボランティアサポーター登録：78名 参加者：延べ1,918名 サポーター派遣：延べ1,130名
(イ) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動の推進 募金額が減少傾向にある中、幅広い地域福祉活動の支援に募金が活かされていることを広報誌やPR活動により周知してまいりました。	
(ウ) 頼りになる社協づくりの推進 弟子屈町遺族会、弟子屈町老人クラブ連合会、弟子屈町共同募金委員会、弟子屈町ボランティア連絡協議会などの事務局を担い、円滑な事業運営に努めました。	
(エ) 高齢者就労センターの運営強化 高齢者の豊かな経験と能力を活かし働くことを通して社会参加し、自らの生きがいの充実や健康の増進を図るとともに、高齢者就労センターの安定的な運営に努めました。	○就労センター登録者数：21名 ○弟子屈町受託事業：8件 ⇒泉の湯／修武館／公園清掃／パークゴルフ場 清掃草刈り 等 ○個人・法人・団体等業務：428件 ⇒除草／雑役／土木／草刈り／除雪 等



令和3年度は事業活動収入173,952,163円から事業活動支出157,320,918円を差し引いて、16,631,245円が事業活動資金収支差額となりました。その他の活動では退職給付引当資産1,245,240円の取り崩し及び経営安定積立金12,000,000円の積み立てを行い、当期資金収支差額は5,876,485円の決算額となっています。前期（令和2年度）末の支払資金残高と合わせた当期末支払資金残高は73,757,745円です。

以下は法人全体の資金収支計算書となります。

法人単位資金収支計算書 (自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差引 (A)-(B)
事業活動による収	収入			
	会費収入	1,145,000	1,102,000	43,000
	寄附金収入	311,000	6,907,071	△6,596,071
	経常経費補助金収入	45,562,000	43,738,532	1,823,468
	受託金収入	27,957,000	30,963,470	△3,006,470
	貸付事業収入	415,000		415,000
	事業収入	6,135,000	5,423,604	711,396
	介護保険事業収入	83,288,000	84,223,090	△935,090
	障害福祉サービス等事業収入	1,895,000	1,514,280	380,720
	受取利息配当金収入	6,000	905	5,095
	その他の収入	34,000	79,211	△45,211
事業活動収入計(1)	166,748,000	173,952,163	△7,204,163	
支出	人件費支出	96,416,000	94,386,890	2,029,110
	事業費支出	53,124,000	49,204,097	3,919,903
	事務費支出	15,041,000	12,051,231	2,989,769
	貸付事業支出	357,000		357,000
	共同募金配分金事業費支出	508,000	508,000	0
	助成金支出	1,282,000	1,170,700	111,300
	流動資産評価損等による資金減少額	20,000		20,000
	事業活動支出計(2)	166,748,000	157,320,918	9,427,082
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0	16,631,245	△16,631,245
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	施設整備等支出計(5)			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入		1,245,240	△1,245,240
	その他の活動収入計(7)		1,245,240	△1,245,240
	支出			
	積立資産支出		12,000,000	△12,000,000
その他の活動支出計(8)		12,000,000	△12,000,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			△10,754,760	10,754,760
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	5,876,485	△5,876,485
前期末支払資金残高(12)			67,881,260	△67,881,260
当期末支払資金残高(11)+(12)			73,757,745	△73,757,745

事業活動収入の内訳は、社協事業67,702,285円／介護保険事業85,737,585円／高齢者就労センター事業20,512,293円。事業活動支出の内訳は、社協事業59,751,889円／介護保険事業83,688,004円／高齢者就労センター事業13,881,025円でした。

また、その他の活動収入（積立資産取崩）の内訳は社協事業463,910円／介護保険事業781,330円、その他の活動支出（経営安定積立金積立）は社協事業で計上しています。

ボランティアセンターだより

収集ボランティア活動報告

弟子屈町社会福祉協議会預かり分
ボランティアセンター預かり分

令和4年4月9日～令和4年6月13日まで



◆エコキャップ◆

高橋 幸佑 様
木田 さゆり 様
森谷 律子 様
一ノ戸サツ子 様
野村 ミツ子 様
川湯の森病院 様
摩周厚生病院 様
青木 章三 様
本照寺 様
中澤牧場 様
船坂 啓子 様
古瀬 貞子 様
弟子屈振興公社 様
大畑 勇 様
山口 洋子 様

特別養護
老人ホーム摩周 様
東洋実業 様
クニオカ工業 様
北崎 悠 様
北崎 和子 様
北崎 ゆうこ 様
北崎 雅雪 様
北崎 仁皓 様
フレンドリーショップ
きたさん様
斉藤 清子 様
芝尾 尚利 様
桜 さくら 様
きずなのなかま達 様
古瀬 らむ 様
古瀬 駿 様

山内サッシ 様
板谷 陽子 様
塚本 恭子 様
酒井 繁子 様
JA摩周湖 様

◆リングブル◆

高橋 幸佑 様
木田 さゆり 様
森谷 律子 様
一ノ戸 サツ子 様
野村 ミツ子 様
川湯の森病院 様
摩周厚生病院 様
両国 様
青木 章三 様
舘 麗子 様

佐々木 百合子 様
古瀬 貞子 様
弟子屈振興公社 様
てつなぎ工房 様
クニオカ工業 様
北崎 博貴 様
芝尾 尚利 様
山内サッシ 様
塚本 恭子 様

◆古切手◆

高橋 幸佑 様
べんり屋すずき 様
児玉 純里 様
塚本 恭子 様

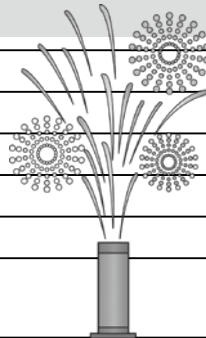


あたたかい善意を
ありがとうございます

令和4年4月9日から6月13日までに
お寄せいただいた
「寄附金」・「寄贈品」を紹介します。

寄 附 金

◆大竹 宗吉郎 様	20,000円	(社会福祉のために)
◆元山 信夫 様	50,000円	(妻の逝去に際して)
◆貝塚 美雪 様	30,000円	(社会福祉のために)
◆根市 志満喜 様	10,000円	(社会福祉のために)
◆万代観光(株) 様	69,296円	(愛の募金を/36回目)
◆摩周歌謡 カラオケクラブ 様	30,000円	(歌謡チャリティー摩周心のふる里・ 歌まつり収益の一部として)



寄 贈 品

◆元山 信夫 様 紙おむつ・尿取りパッド 多数 (妻の逝去に際して/必要な方に使用していただきたい)

社会福祉法人
弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211
弟子屈町中央2丁目10番25号
弟子屈町社会老人福祉センター内

TEL 015-482-1054
FAX 015-482-1236



社協の運営は、皆様の温かい善意に支えられています。社会福祉協議会は、行政や地域住民の皆様が安心して暮らすことができる福祉の町づくりに取り組みしています。慶弔のお返しに、え、また結婚や出産等を記念して、地域福祉のご厚情をお待ちしております。

ご意見ご感想をお寄せください(公式ホームページからも受け付けております。http://teshikaga-shakyo.jp)